

「人がかがやき、米と文化が実る町」 ～蘭越町の農業科～

コミスク便り

第13号

令和8年10月1日

蘭越町教育委員会

生涯学習課

担当：徳光、工藤

TEL0136-57-5030



蘭越小学校



昆布小学校



蘭越中学校

地域の米づくりに学ぶ子どもたち

去る9月2日（水）昆布小5・6年生が昆布地区の日置さんの田んぼで稲刈りを行いました。早朝の雨が思ったより強く、田んぼの地面に水たまりがあったため、作業は大変でしたが、子どもたちは大張りきりで、歓声を上げながら次々と苗を刈り取っていました。

手慣れた手つきは初めての経験と思えない鎌裁きが見事でした。「実がたくさん入っているのかな」「上手に刈れたよ」など、お互い楽しく会話を交わしながら、作業を進めることができました。

今回は、日置さんの発案で、稲架掛け（はさがけ）体験をしました。昔からの伝統的な天日干し方法により、普段の炊飯器を使ったものとどう違うか、興味があるところです。昨年のように、日置さんを囲んで炊飯、試食ができるといいですね。

なお、11月に開催される米1グランプリに出品されるとの話がありました。いろいろな経験ができました。日置さん、ありがとうございました。



日置さんからの説明



ていねいに刈り取っていきます



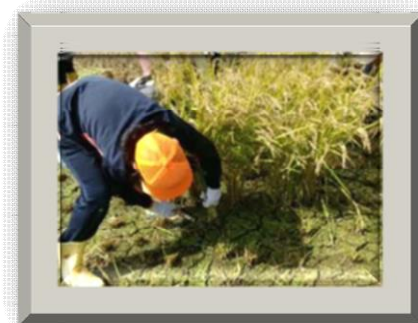
私が刈った稲穂です

9月15日（火）蘭越小5年生も「稲刈り」をしました。

幸い好天気に恵まれ、予定通り「稲刈り」を行うことができました。

7月末に一度観察に出かけたり、稲刈りまでの間、それぞれの課題に向かって調べポスターづくりなどに取り組んできました（教室前に掲示）。

当日は、野口さんだけでなく、町広報担当者、農林水産課の職員にも協力いただきました。最初、野口さんより鎌の使い方の説明を受け稲刈りが始まりました。全員、安全に注意し刈り取っていましたが、慣れるにしたがい、手際よく刈り取った稲を大事そうに両手で抱え、慎重に確かめながら刈り取っていくなど、それぞれ一生懸命稲刈りをしていました。最後は、地面に落ちている稲穂を「もったいない」と言って拾いあげる子もいます。約30分で終了しましたが、気温のわりには陽が強く、汗をかきかきの稲刈りとなりました。





刈った稲穂を前に記念撮影



アツという間に刈り取っていきます



よく見て慎重に

稲刈りを振り返って

育苗センターで始まった、今年の米学習「米プロジェクト」の体験活動も一端終わります。これからは、体験したことをまとめる学習に移行します。つまり、体験を通し何を学んだか、更には日本の米栽培の現状など、各自課題をもった調べ学習に入っていきます。子どもたち自身、問題意識を持ち、学習に取り組むことになります。今後、学習したことを子どもたちがお互い伝え合い、更には学んだことを発信していくことが期待されます。要注目です。蘭越の子ならではの学びとなるよう、各自挑戦してほしいと思います。発表会、ポスター作成、などなど工夫しながら取り組んでいってほしいものです。

今回も、蘭越地区の野口さん、昆布地区の日置さん、更には役場農林水産課の方々には特段のご協力をいただきました。学びの機会を提供してくれるだけでなく、細かな準備をしてくれたお陰で、予定通り進めることができました。泥だらけになった手足にホースで水をかけてくれたこと、とてもありがたかったです。心からお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

米プロジェクトの学びはこれからも続いています。今後も学習の様子を報告させていただきます。

◆「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ

～なぜ学校と地域との「連携・協働」が必要なのか～

誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「当事者」として、
自分たちの力で学校や地域を創り上げていく・・・



子どもたちが幸せに安心して暮らせるまち。
子どもたちが「志」を果たしていける未来を創り上げていくために



蘭越町の「地域学校協働活動」テーマ

◆テーマ「人がかがやき、米と文化が実る町」

◆サブテーマ「蘭越の農業科」